

茨城県地域医療支援センターのご紹介

茨城県地域医療支援センター キャリアコーディネーター 小島 寛

茨城県地域医療支援センターのキャリアコーディネーターを務めています茨城県立中央病院の小島です。生きいき診療所ゆうきの荒井先生とともに、平成24年4月から茨城県地域枠学生、修学生およびこれらの制度を利用して卒業された医師の皆様のキャリア形成のお手伝いをさせていただいています。

皆さんご存知のとおり、茨城県は人口当たりの医師数が全国で下から2番目であり、特に県北部や鹿行地域の医師不足は深刻です。医師不足、偏在の問題を解決するために医療対策課では様々な対策を講じてきました。そのような対策のひとつとして、地域枠医学生制度、修学資金貸与制度があります。地域枠で医学部に入学された方、修学資金の貸与を受けられた方は、卒後一定年限は県北部や鹿行、県西などの医師不足地域に勤務することが義務づけられています。対象の医師の方にはジェネラリスト（総合医）として是非とも地域医療に貢献していただきたいと期待していますが、一方で卒後6～9年までの期間は医師としての基礎を築きわめて重要な時期でもあります。地域医療支援センターでは、「プライマリケアに広い知識・経験を有し、全ての医療場面において指導的立場から茨城の地域医療に貢献できる医師を養成する」という目標を掲げています。医師不足地域に勤務していても専門医資格取得等、将来の方向付けができるように皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

医学部5、6年生、および卒業された医師の方とは、キャリアコーディネーターが毎年面談を行い、それぞれ個別に



研修プログラムを提案していきますので、医師不足地域に勤務していても都市部あるいは大学病院で研修した医師に負けない、そしてむしろ凌駕する実力をつけていただきたいと思っています。

一方で地域医療支援センターでは、皆さんのキャリア形成の助けになるような様々な研修会、サマー・セミナー、スプリング・セミナー等を企画しています。私たちキャリアコーディネーターに加えて、教育インストラクターとして4人の医師がセミナー等を企画・立案します（水戸医療センター米野先生；水戸協同病院徳田先生；水戸済生会総合病院鹿志村先生；県立中央病院関先生）。セミナー等では診療能力を高めるための知識、技術を習得するのみならず、地域枠学生、修学生および医師の皆様の縦横のつながり、仲間意識を醸成していただきたいと思っています。地域医療支援センターが皆様の「医局」として機能するよう、医療対策課職員とともに優れた教育システムを作っていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



小島キャリアコーディネーター
と土井センター長
(平成24年4月県庁にて)



地域医療支援センター第1回運営委員会

「小児科を開設して2年目、地域の皆さんに安心していただいています」～小児科医師からのメッセージ

小児科医の不足する茨城県鹿行地域。その神栖市にある神栖済生会病院で、意欲的に小児医療に取り組む庄野先生に、地域の小児医療の現状や今後についてお話しいただきました。

…神栖済生会病院に赴任されたいきさつは？

順天堂医院からの派遣です。神栖地域は小児科が不足していて、我々の医局から外勤という形で医師が来ていました。また、順天堂練馬病院の教授も20年来、月に1回、小児の神経の病気や、内分泌疾患などを診療にいらしていました。その先生方から、神栖済生会病院に小児科をつくらなかと声をかけていただきました。私に、白羽の矢が立ったんですね。そして、平成22年の10月に私と、もう1名小児科医が来まして、小児科を立ち上げたのが始まりです。

…現在の診療体制は？

今は、常勤医師は3人。6月から4人に増えます。平成23年6月から平日の夜間にも、当直業務を行っています。

…神栖市の小児医療について感じることは？

この小児科が開設されるまでは、夜中に診てもらえる病院はなかったようです。鹿嶋市の救急診療所は365日、夜の8時から11時までは診療していますが、それ以降になると、千葉県旭市や土浦市の病院まで行かなくてはならない状況だったみたいです。我々が来て、ここに小児科ができて、地

神栖済生会病院 小児科部長 医学博士

庄野 哲夫



域の皆さんが安心してくださっているという印象は少しずつですが感じています。

●365日、24時間の診療をしたい。

…現在の課題と今後については？

現状として医師が3人しかいないので、365日24時間は当直業務は不可能です。もうあと1人、2人、医師を増やして365日、24時間の診療をしたいですね。土日も夜間に患者さんを受け入れることができれば、もっと地域に貢献できるのではないかと考えています。しかし、増えればいいのかというと、医師だけが増えてもだめなんですね。医師の力なんて

本当に微々たるもので、周りを固めてくれる中心は看護師であり、他のスタッフも含めてメディカル力はものすごく大きいのです。医師の力なんて本当に一割か二割じゃないでしょうか。そういう部分に、今後行政より支援していただけたらいいなと思います。

●小児科はジャンルにとらわれずに全身を診られます。

…小児科医になられたのはなぜですか？

すごい昔のことで、なんだったかな（笑）。でも、子どもは好きでしたね。大学病院はどこもそうですが、内科だったら例えば呼吸器内科とか循環器内科とか、腎臓内科とかすごく細かく分かれています。でも、小児科は小児科なんです。全部、全身診られる。そういうジャンルにとられないところが好きで小児科医になりました。

…その中でもご専門はありますか？

小児科の中で特に専門としているのは、小児のホルモンに関連する分野です。小児の糖尿病とか、甲状腺の疾患など一生ものの病気が多いので、本人もそうですが家族ともコアな長い付き合いになっていきます。そういうところにも、やりがいを感じています。

…神栖市にお住まいですか？

そうです。こちらに来る前は、やはり大学からの派遣で岩手県盛岡市のもりおかこども病院に勤務していました。そこ

に比べると、神栖市はだいぶ都会です。大学に入ってからしばらく東京にいましたが、神栖市は東京よりも緑が多いし、住みやすいと感じています。患者さんとの距離も近いと感じます。

●茨城県は地域医療ならではのやりがいがあります。

…医学生、研修医の皆さんへメッセージをお願いします。

茨城県は、やりがいがあります。小児医療に関しては特に医療過疎地だと思うので、そういうところでしかできない医療が必ずあるはずなので、そのなかで自分のやりたいことを見つけていければいいと思います。また患者さんはたくさんいるので、患者さんを治すのも仕事ですが、珍しい症例を見つけて、それを学会に報告して協力しながら治療法を探っていくこともできます。様々なやりがいがあり、十分にある地域です。



病院紹介コーナー



友愛記念病院

当院は昭和56年1月県西地区の古河市に設立された病院で、平成18年2月に病院を移転・新築しました。

宇都宮線の古河駅から車で約10分の所に位置し、上野、新宿まで約50分と、都心へのアクセスも良好です。

病床数は一般病床319床、診療科目は消化器科、一般内科、循環器科、呼吸器内科、糖尿病科、血液内科、肝臓科、外科、血管外科、大腸肛門科、乳腺甲状腺科、小児科、眼科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、放射線腫瘍科、麻酔科、緩和ケア科と多岐にわたっています。

特に、外科治療、化学療法、放射線治療、緩和ケアと、がん治療に力を入れており、地域がん診療連携拠点病院に指定されています。

平成16年度から東京医科歯科大学の協力型臨床研修



指定病院として毎年2人の臨床研修医の研修を行っていましたが、現在は管理型臨床研修指定病院の指定も受けています。各診療科の連携は良好であり、プライマリケアから専門的診療まで幅広い臨床研修を受けることができます。（院長 加藤 奨一）

研修医Relay Essay リレーエッセイ

東京医科大学茨城医療センター
初期臨床研修医 関 健



高機能患者シュミレーターによるトレーニング

東京医科大学茨城医療センターで研修生活を始めて2年目になりました。研修を始めた頃は、当時の2年目の研修医の先輩方が一人で何でもこなしている姿に驚き、1年後に同じような医師になれるよう何事もがむしゃらに取り組んできた1年でした。2年目は新しく入ってきた研修医の見本、目標に少しでもなれるよう、責任感を持って仕事に取り組んでいます。

現在は、総合救急センターで救急車の初期対応、診断、専門医への治療の引継ぎまでを行っています。限られた情報やバイタルサイン、身体所見から緊急性の高さを判断したり、病態や鑑別診断を考えていくことは、将来どの科に行っても求められることです。指導医の先生もおり、学びやすい環境が整っている研修医の期間中に、多くの症例と真剣に向き合い経験することで、将来どこへ行ってもどの科になっても一人前の医師として診療ができるよう、残りの研修生活に取り組んでいきたいと思っています。

臨床研修病院説明会 レジナビフェアのお知らせ

レジナビフェアは、全国各地から多数の病院が1つの会場に集まるイベントです。

7月15日（日）に東京で開催される医学生向けの初期研修フェアには茨城県内の病院が参加します。指導医や研修医など、さまざまな立場の関係者と交流できるチャンスです。

“現場の生の声を聞いてみたい” “気になる病院が遠方で行く時間がない” という方はレジナビフェアにご参加ください。
(主催：メディカル・プリンシプル社)

茨城県からの参加病院

- 筑波大学附属病院（つくば市）
- 東京医科大学茨城医療センター（阿見町）
- 筑波メディカルセンター病院（つくば市）

茨城県医師臨床研修連絡協議会による “いばらき合同ブース”

- 水戸赤十字病院（水戸市）
- 水戸済生会総合病院（水戸市）
- 国立病院機構水戸医療センター（茨城町）
- 茨城県立中央病院（笠間市）
- ㈱日立製作所日立総合病院（日立市）
- ㈱日立製作所ひたちなか総合病院（ひたちなか市）
- JA とりで総合医療センター（取手市）
- 総合守谷第一病院（守谷市）

※都合により参加病院が変更になる場合があります。



研修病院説明会 医学生

レジナビフェア 2012 in 東京 7月15日(日)
会場：東京ビッグサイト



〈昨年の会場の様子〉

詳しい情報・参加申込はこちらをご覧ください

<http://www.residentnavi.com/index.php>

茨城県からのお知らせ

■修学資金貸与制度等に係る受験生・保護者向け説明会

医学部進学を希望する受験生や保護者を対象とした説明会を開催します。

茨城県地域枠・修学資金などの制度説明のほか、地域枠設置大学や自治医科大学からの大学紹介もあります。

	つくば会場	水戸会場
開催日時	平成24年8月7日（火）13：00～15：00	平成24年8月8日（水）9：00～16：00
開催場所	筑波大学医学図書館（臨床講義室A）	茨城県開発公社（大会議室）
参加大学	筑波大学	東京医科歯科大学・東京医科大学 杏林大学・自治医科大学
内容	○県からの概要説明 ・修学資金貸与制度の概要 ・地域医療支援センターの支援体制 ○各大学からの大学紹介	

茨城県地域医療支援センター

茨城県水戸市笠原町978番6(保健福祉部医療対策課内) TEL:029(301)3191

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/isei/ishikakuho/top/index.html> E-mail:i.doctor@pref.ibaraki.lg.jp